

生徒指導だより

福井県立福井特別支援学校

第1号 令和4年12月

生徒指導に関わるお知らせを御案内します。御家庭と協力して、児童生徒の学びを支援したり、安全を守ったりしたいと思います。よろしくお願いいたします。

第2回避難訓練を実施しました！

11月4日（金）に地震を想定した避難訓練を実施しました。地震発生後に児童生徒自身も教員自身も自分の身を守る行動をとりました（写真1）。ヘルメットをかぶったり、防災頭巾をかぶったり、近くに何も無い場合は、本やクッションなどで頭を覆ったりなど何らかの行動ができるように事前に練習も行いました。本部と周辺の被害状況を共有し、その情報をもとに、緊急放送が流れます。児童生徒たちは、放送をよく聞き通行不可の場所を避けて落ち着いて避難することができました。避難する際は、各クラスにある災害時持ち出し袋や通学用かばんに入っている各自必要なものも持ち出します。日ごろから持ち出しやすいような工夫がされています。



写真1



写真2

今年度は、校舎の被害状況の確認や、取り残された児童や教員の捜索、負傷者の手当も避難後の訓練として行いました。体育館に避難が完了した児童生徒たちは、不安な様子でしたが、クラスの教員と話しながら落ち着いて待つことができていました（写真2）。本来は学校活動の継続が難しいと判断した場合、保護者への引き渡しとなります。引き渡しについては次を御覧ください。

第2回避難訓練の事前学習として、「ぐらぐらなまますを貼ろう」という学習を行いました（写真3）。地震が発生した時に、校内のもので倒れてきたり、落ちてきたりして危険なところを見つけ、ぐらぐらなまますのカードを貼るという活動です。全校で、危険な箇所を探し、その部分を避けて避難したり、倒れたり落ちてきたりしないように対策をしました。御家庭でも、倒れてきたり落ちてきたりすると、けがにつながったり避難できなかつたりする場所をお子さんと話し合ってみてはいかがでしょうか。



写真3

今年度から、ショート訓練という短時間で避難行動や初期対応をする訓練を行っています。短時間でも定期的に何度も繰り返すことで、災害時や緊急時に落ち着いて行動することができるようになります。今年度は3回実施予定です。

緊急時・災害時の引き渡し

学校活動が継続不可能と判断された場合、緊急メールを通して、保護者の方々に次のような連絡が行くことになります。

緊急のお知らせです。

9時50分の震度5の地震発生により、安全確保のため児童生徒全員、児童生徒玄関前に避難しました。医療的ケアの児童生徒は光陽生協クリニックに避難しています。全員ケガなく無事です。御安心ください。

この地震により、給食室で火災が発生し、ただいま消防署員が消火中です。校内はガラスが散乱しておりますが、建物は今のところ大きな破損箇所はございません。

この後、授業を中止し、児童生徒の引き渡しを行いますので、お迎えをお願いします。11までにお迎えが可能かどうか、以下のURLで返答選択し、送信をお願いします。お迎えの際は、身分を証明できるものを持参し、お気をつけてお越しください。



写真4

引き渡しは、4月29日（金）の授業参観に行った訓練のように、体育館後方で行います（写真4）。学部ごとに受付があり、そこに身分証明書を持ってきていただくことになります。原則、年度初めに提出いただいている緊急時引き渡しカードに書かれている方のみ引き渡しとなっています。記入漏れがないよう御協力ください。

スマホの使い過ぎによる体調管理に注意

VDTとは、Visual Display Terminalの略で、画面を見ながら作業を行う端末、つまりパソコンやスマートフォンなどの電子機器を意味します。VDT症候群は、こうした電子機器の操作を長時間連続して行うことで、眼や身体、心に不調が生じる病気です。

スマホの使い過ぎにより、常にSNSなどのメッセージが気になってしまい、何事にも集中できなくなってしまうことで、日常生活に支障をきたすだけでなく、健康面でもマイナスになります。適切な使い方ができるように、親子で利用のルールを話し合い、保護者が利用状況を把握するよう心掛け、お子さんのスマホ利用を自制する力を育てましょう。

スマホを触っている時間が多すぎる

→リアルな世界との触れ合いが不足している

対策 友人や家族などと話す・一緒に何かをする時間を増やす、動植物を育てる・面倒をみる



気づくとSNSやゲームをしている

→勉強時間や睡眠時間が不足している

対策 学びの時間を増やす（オンライン学習を含んでも良い）、寝る時間をちゃんと確保する



長時間、ごく近距離で小さな画面を見続けている

→目を休める時間が不足している

対策 遠くを見る時間を足す、まめに画面から目を離す、眼精疲労回復のためにたくさん寝る



座ったままなど、ずっと同じ姿勢でいる

→体勢を変えたり動いたりすることが不足している

対策 トイレに立つついでに軽く運動する、カラダを動かすゲームをする、気分転換に外出する



〈参考〉 ・総務省「インターネットトラブル事例集（2022年版）」